



■硯澤 元文元年(1736)

『硯澤』という作品をご存じでしょうか。山梨県出身の山口黒露という俳人の書いた作品です。自身の東北旅行を書いた紀行文で、一般的な知名度は低い作品ですが、松尾芭蕉の『おくのほそ道』をたどった珍しい俳書となっています。芭蕉と類似のルートをたどりながら、芭蕉とは一味違った感性と表現を見ることができ、また当時の東北地方の様相を知るうえで貴重な資料ともなっています。

MUSEUM

ミュージアム都留 & 増田誠美術館

開館時間 午前9時～午後5時
 ※増田誠美術館は午後4時30分まで
 観覧料 一般 300円(210円)
 高・大学生 200円(140円)
 小・中学生 100円(70円)
 ※()内は、20名以上の団体料金です。
 休館日 月曜日、第3火曜日
 祝日の翌日
 問合せ先 ミュージアム都留
 ☎45-8008

本書は現在『甲府市史』の中に掲載されているのですが、この文学的・歴史的に価値の高い作品を後世に伝えていくにあたって、より正確な形で作品を残したい、というのが本企画の発端です。作品の研究を進めていくためにも、正確な本文の制作は必要不可欠となります。そこで都留文学大学の国文学科近世ゼミの研究会では、『硯澤』の原本をすべてコピーし、現在ある活字本の本文と一文字一文字照合しながら間違いがないかを確認していく、という大変地道な作業によって『硯澤』の新たな本文を作成しました。

今回の展示では、旅の様子や見どころを伝えるための写真・画像も多く使用し、この作品を知らない方にも楽しんでいただけるような展示を目指しました。私たちの住む山梨県で面白い活動を展開した俳人がいたこと、こういった文化があったことを知ることは地域に住む者として、とても重要なことだと思います。この展示がそのためのひとつの機会となり、より多くの方が興味を持つきっかけとなればと思います。同時に私たちの研究活動の成果を知っていただくためにも、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

ミュージアム都留企画展

「甲州俳諧展 ～おくのほそ道を辿った甲斐俳人～」

12月18日(土)～2月13日(日)



○芭蕉のさと企画展
 関連イベント
 「俳句かるた練習会」

来年1月に開催される市民俳句かるた大会に出場される皆さん、大会の前にちよつと腕だめしをしてみませんか。大会に出場されない方でも、自由に参加できます。

日時 12月25日(土)13時～
 ※事前の申し込みは不要です。



○冬休みチャレンジ教室
 「しめ縄と正月飾り作り」

本格的なしめ縄が作れます。ほろき作りの実演もあります。

日時 12月23日(祝)13時30分～
 持ち物 カッター 30cm定規
 材料費 100円
 定員 30名
 ※参加には事前申込みが必要です。

